

あくせす news

第 208 号
2019年10月15日
発行者
呉市医師会病院
地域医療福祉連携室
あくせす



吹く風に涼しさや爽やかさを感じ、過ごしやすい好季節を迎えています。
金木犀の甘い匂いも漂いはじめ、日増しに秋の深まりを感じる今日この頃です。
さて、先生方にはいつも **あくせす** をご利用いただき、ありがとうございます。
引き続き一層のご利用・ご紹介のほど、よろしくお願いいたします。

呉市医師会病院 関係医師懇談会 **会員と職員の集い REIWA 1** ご案内

日頃よりご支援・ご協力をいただいております先生方との親睦を深め、顔の見える関係づくりから、より円滑な地域連携を目指すべく、毎年ご好評いただいております「会員と職員の集い」を今年も開催いたします。

◆日時：2019年11月14日(木) 19時00分 ◆場所：呉市医師会館5階講堂

※ご案内文書を後日改めて送付します。

職員おすすめの日本酒試飲コーナーもございます。多くの先生方のご参加をお待ちしております。



報告

呉市医師会病院 大腸肛門病センター 開設5周年記念

おなかとおしりの健康を考える会



排便障害ケアチーム POOP
マスコットキャラクター
ぷぷちゃん

10月5日(土)、呉市医師会館講堂にて大腸肛門病センター開設5周年記念「おなかとおしりの健康を考える会」を開催し、約190名の参加がありました。
はじめに呉市医師会 玉木正治会長の挨拶があり、第1部では中塚大腸肛門病センター長による「大腸肛門病センター これまでの歩みと未来に向かって」、藤森副センター長による「おなかとおしりの健康を考えよう！」の講演の後、排便障害ケアチーム POOP の指導により、参加者全員で便秘や失禁に効果のあるリズム体操を行いました。

第2部として、「なんでも相談コーナー」「健康測定コーナー」を設けたところ、予想以上に多くの方に来ていただき、大盛況でした。
会終了後のアンケートでは「楽しかったです」のコメントを一番多くいただき、病院スタッフと参加者が一体となって楽しく学び、考えることができた会となりました。



リハビリ科考案のリズム体操を「きよしのズンドコ節」の曲に合わせて行いました

医師・看護師・栄養士・薬剤師・医療相談員による「なんでも個別相談コーナー」の様子

会の様子を YouTube で見ることができます。「大腸肛門病センター5周年記念」で検索、ご覧ください!

★9月1日～9月30日★

※届出日数(地域包括ケア病棟、障害者病棟等を除く)

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数※	紹介外来患者数	医療相談患者数
118.8人	57.4%	16.8日	61人	114人



当院における大腸CT検査

副院長/放射線科部長
大本 俊文



大腸CT検査(CTC)は、マルチスライスCTやワークステーションの進歩、エレクトロニッククレンジング、被曝低減技術により、当初と比し飛躍的に進歩したと考えられる。診療報酬でも平成24年の改定で「他の検査で大腸悪性腫瘍が疑われる患者」に対して大腸CT検査加算が認められた。当院でも平成28年10月CT装置やワークステーションの更新、炭酸ガス自動注入器の導入でCTC検査を開始した。

今回当院においてCTCを施行した154例(男性74例、女性80例、平均年齢74.1歳、2016年10月～2019年8月時点、内訳は進行大腸癌13例、スクリーニング132例、その他9例)を対象にCTCの有用性について検討した。

■結果4:CTCでの腸管外所見

- ・102例に349の腸管外所見を認めた。
- ・肝嚢胞(30例)、腎嚢胞(54例)、脂肪肝(17例)、胆石(17例)など多くは精査不要のものであったが、肝腫瘍(5例)、腎腫瘍(2例)など13例で精査必要な所見を認めた。

■結論:

CTCは、診断のついた進行大腸癌術前検査として有用性が高いと考える。

スクリーニング検査としては、CS困難例CS拒否例あるいは高齢者などでの意義の可能性がある。

CTCは、腸管外病変のスクリーニング検査としても有用である。

■結果1:進行大腸癌術前のCTC(13例)

- ・全例で、横断像、VEおよび仮想注腸像で腫瘍は良好に描出され、腫瘍の解剖学的位置の確認、また、腫瘍の大きさと形状の把握に有用であった。
- ・CS困難例(5例、scopeが深部挿入困難)ではVEで狭窄部より口側大腸の病変の検索に有用であった。
- ・腹腔内の転移検索(リンパ節腫大)も同時に施行可能であった。

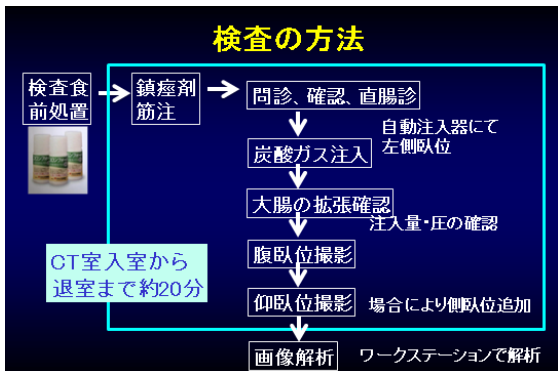
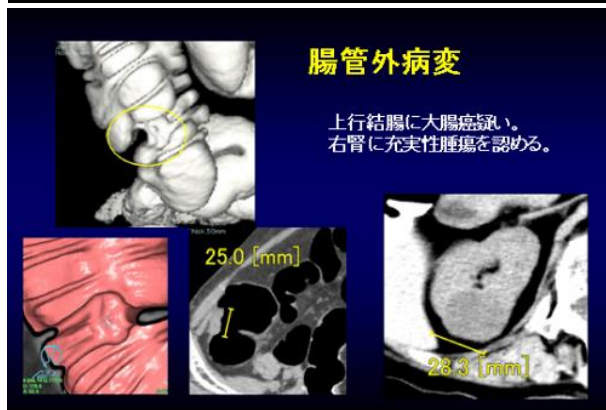
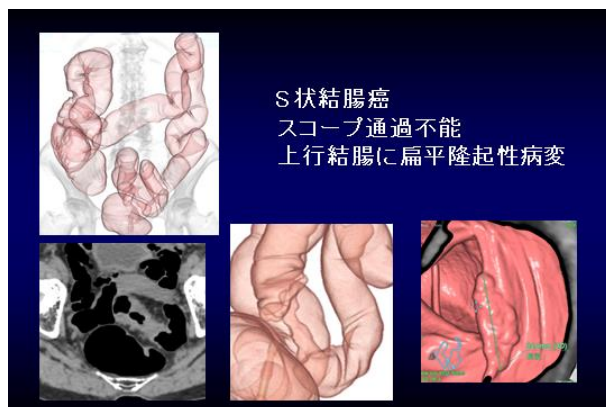
⇒術前評価としてはCTCが有用と考えられる

■結果2:スクリーニングでのCTC(132例)

- ・不十分な検査で評価不能例が3例あった。
- ・6mm以上のポリープを認める陽性例は49例あった。その内、結腸外浸潤を示す悪性腫瘍を疑わせる症例が8例あった。

■結果3:CS困難症例でのCTC(14例)

- ・CS困難例において、特にtroubleなく検査終了することができた。
- ・検査陽性例は5例、その内1例で悪性腫瘍が疑われた。



禁忌

- ・活動的な大腸炎(急性下痢症、活動性の炎症性腸疾患など)
- ・症候性の結腸を含む腹壁ヘルニア
- ・最近の急性憩室炎
- ・最近の結腸直腸手術
- ・最近の内視鏡での生検/ポリープ切除/粘膜切除術
- ・結腸穿孔、または疑わしい場合
- ・症候性または高度の腸閉塞

当院でのCTC検査の流れと検査禁忌について左表に示します。大腸CT検査の適応と思われる患者さんがおられましたら、ご紹介のほど、よろしくお願いたします。

【予約受付先】
放射線科(あくせす)
☎25-7708